

楽しい田舎暮らし

大日堂の謎の掛け軸解明 ・ 6月20日の続編 (24年10月7~8日)

6月20日に押山大日堂の謎の掛け軸の解釈をこのサイトで公開しました。今回それが正しいかを肌感覚で確かめるために高野山を訪れました。妻と交代で運転しながら必死で行つてきました。

まず麓の丹生都比売神社へ



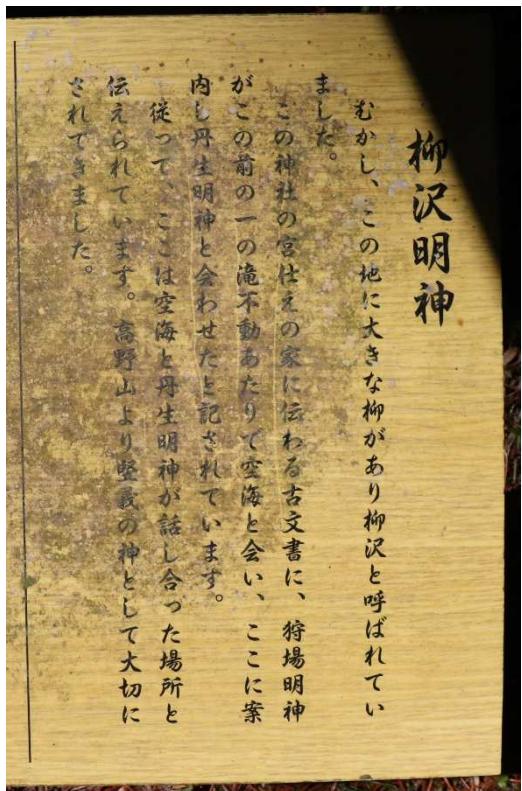
丹生都比売大神は空海さんに高野山を「どうぞ！」と提供した気前の良い地主神です。神社は想像よりはるかに立派で神氣満々、びっくりしました。



つぎは柳沢明神だ

丹生都比売神社から車で2kmくらいのところに柳沢明神があります。空海さんと丹生都比売大神が出会った場所です。農家さんの裏にあってちょっとわかりにくい。行ったり来たりしました。





丹生都比売大神の御子神の高野御子大神（別名 狩場明神）が連れた2匹のワンコ（神犬）が空海さんをここに案内し、丹生都比売大神と会わせたと伝えられています。

その後、ワンコと高野山に登った空海さんは、以前自らが中国から投げた三鈷杵（さんこしょ）が松に乗っているのを発見しました。次はその松の話です。

松はどこだ？ 高野山壇上伽藍へ



古い建物と新しい建物が混在しているのは火事で焼失＝再建した建物が多いからです。高野山は狭い盆地にお寺がひしめき合っているので火事が起きると被害が大きいのです。



ありました！ 三鉢の松（さんこのまつ）

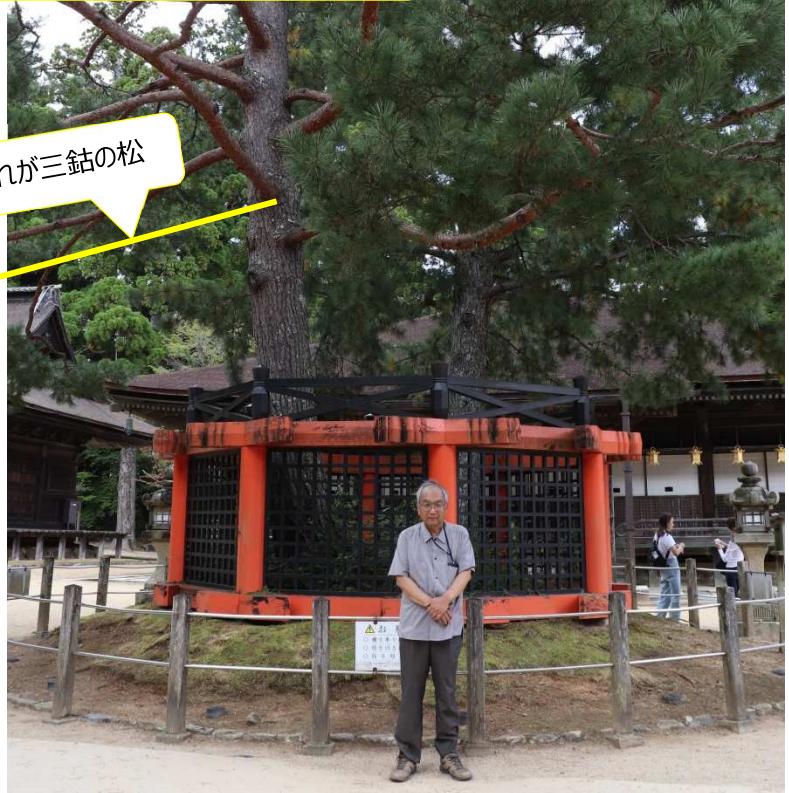
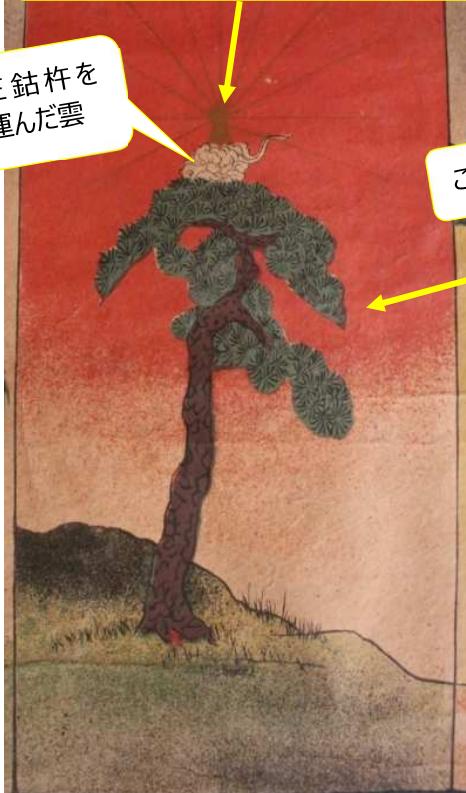


ビカーっと光っているのは空海さんが中国から投げた三鉢杵



三鉢杵を
運んだ雲

これが三鉢の松



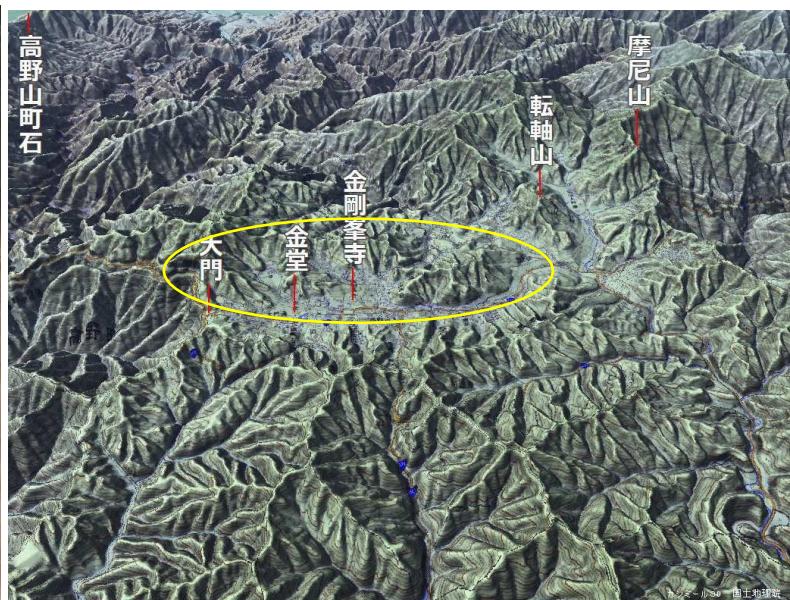
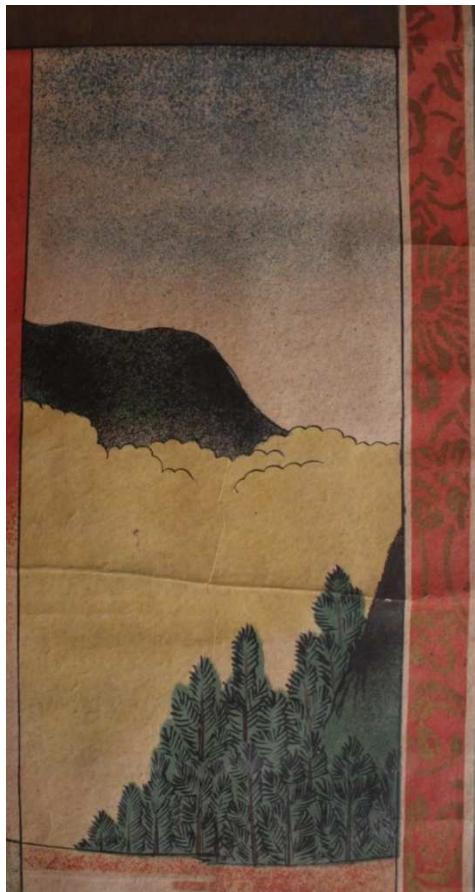
松は壇上伽藍の中になります。当初の木ではなく200年くらいの前のもので七代目らしいです。

ちなみに空海が中国から投げてここに飛んできた三鉢杵は金剛峯寺に保管されているそうです。見たいぞ

なお右のように松の木の葉が3本になっているものは幸運の印だそうですが、観光情報にあるようなレアなものではなく、妻が探したら普通に落ちていました。しかも拾っているのは妻だけでした。



高野山とはどんなとこかというと…



押山大日堂の左の絵は高野山の風景を描いたものと考えられます。高野山は標高 800 m の山上の盆地で周囲を 1000 m 級の山に囲まれたところです。人里を離れた深い山にある平地というのが空海さんの望みだったか。

この地形はグーグルアースで角度や縮尺を変えながら見るのが一番ですが、今回は「ぶらタモリ」の画像を拝借。

(おまけ) 空海さんのご飯

空海さんは今も生きておられるので朝 6 時と 10 時 30 分にご飯が運ばれます。奥の院の御供所という建物で調理されます。

ここは御朱印所でもあり、ちょうどヒマヒマしていたおねえさんに「ぜひ見ていいなさい」と強く勧められました。30 分ほど後だったので妻と押山区長を讃める話をしながら待ちました。時間が近づくとおねえさんは「もっとこっちで見た方がいいですよ～」「28 分ころに出てくることもあるよ～」などと窓口から顔を出して親切におしえてくれました。いい人だ。

さて、できたご飯は嘗試地蔵（あじみじぞう）というお地蔵さんがチェックしてから空海さんのおられる御廟へ運ばれます。以下その様子を紹介



① ご飯ができました～



② 嘗試地蔵さんにチェックしてもらいます



③ 合格したら箱に入れて‥



④ 出発！



⑤ さっさと速足で歩きます



⑥ あつという間に通り過ぎました

(さらにおまけ) 高野山の外国人



高野山はオーバーツーリズムの見本としてメディアに取り上げられることがありますが、今回は全く平穏でした。

左の画像は金剛峯寺の入口です。
確かに来訪者の大半は外国人でしたが、ご覧のように程よくまばらです。

ほとんどは欧米の人でなぜかアジア系の人は見かけません。



山門の奥が金剛峯寺です。

お寺の中に入っても外国人たちは静かに控えめに行動していました。目に余るようなふるまいは皆無です。お寺主催の瞑想体験などに参加する人も多くいました。

一番騒々しかったのは我々か…



これが我々の泊まった宿坊です。

25部屋あるのですが、この日は外国人20部屋で日本人5部屋でした。

夜になつたら酔っぱらった外国人が「ビリーザキッドの唄」など歌つて騒ぐかと思ったら全く静か！

9時にはどの部屋もシンと静まりかえっていました。

翌朝の勤行や護摩祈祷にはほとんどが参加し、写真も撮らず、控えめながらも真剣で興味深げなようすが印象的でした。

(最後に) 高野山のおみやげなど

拾ってきた三鈷松の葉は額に入れました。

額の前の白黒ワンコは丹生都比売神社のおみくじで、空海さんを案内したワンコがモデルです。妻が白を引いたら大吉で私が黒を引いたら吉でした。ちょっと悔しかったです。

おっと、最後にもうひとつ。押山大日堂の掛け軸の画像や私のレポート下書きを高野山のお坊さんたちに見せしましたが、みんな「こんなのが見たことない！」とのことでした。

